

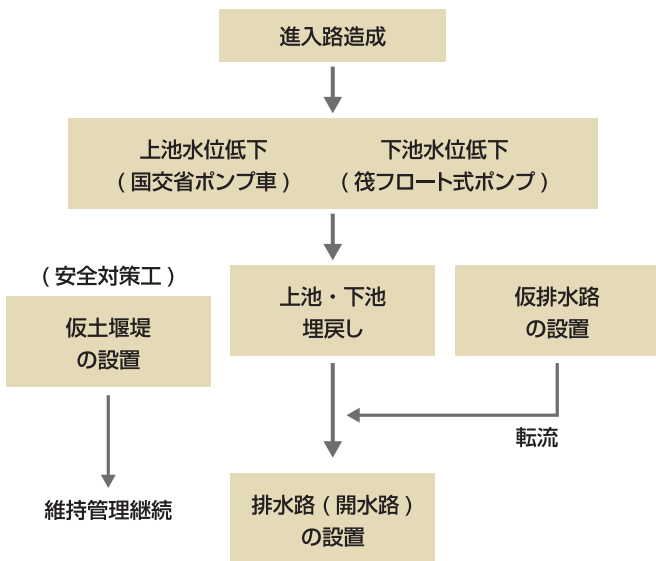
# 田辺市 熊野地区 (和歌山県)

●施工：大林組

## 被災状況・工事概要

台風12号により、大規模な深層崩壊が発生約410万m<sup>3</sup>の土砂が河道を閉塞、上流側に天然ダムが2つ、下流側は、生活道路、流路田畑、民家が土石流で破壊され、現在も土石流で覆われている。天然ダムの決壊の可能性をなくし、洗掘による浸食を防止するため天然ダム上に開水路(落差工・流路工)を設置する緊急対策工事である。

## 工事施工フロー



## 現況について

上流の流域面積が約1.2km<sup>2</sup>と小さいことから恒久対策として、鋼製枠+かごマット構造の排水路(開水路)を施工中。中詰石(栗石)には現地発生材を使用することとし、ジョークラッシャーによる栗石生産を行っている。出水期までの施工期間であり、全体の約50%を施工、出水期までには排水路に通车させる予定。



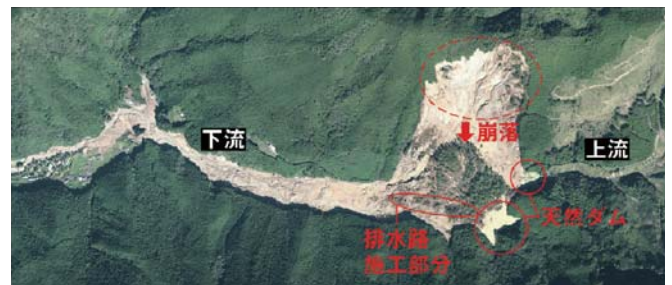
鉄製枠設置状況 24.2.20



破砕機による栗石生産 24.2.9

## 今後の課題

工事初期は、一日も早い警戒区域解除が目標、その後は、地元住民と関係部署が意思疎通を図り、完全復旧復興のための体制を早期に築くことが大切であると思う。



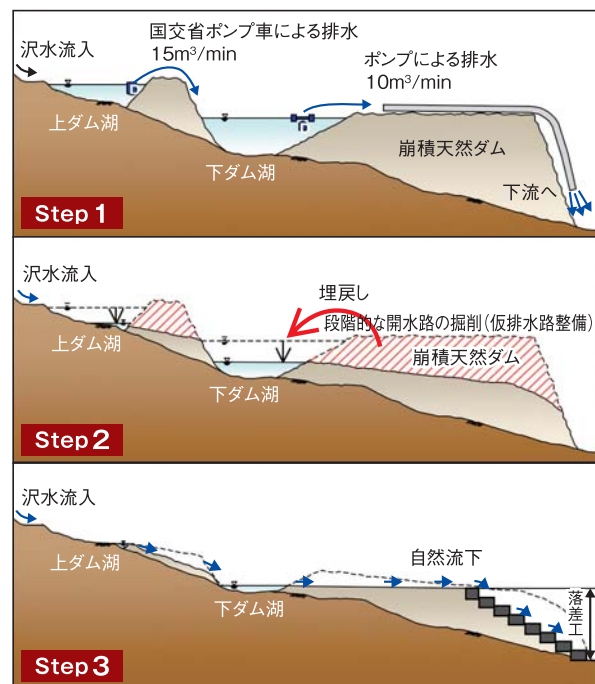
被災後航空写真



下池 埋戻前 23.10.19



下池 埋戻後 23.12.10



24.2.23